



(公社)日本動物園水族館協会会友
(公財)東京動物園協会顧問
2011年秋の叙勲で瑞宝双光章受章

紫芳会だより ～輝く先輩達～

No.17
2014.1.1.発行

恩賜上野動物園・多摩動物公園園長歴任
紫芳会第三代理事長 獣医師・学芸員

齋藤 勝 氏 (高校9期)

トキ、コウノトリを始めとする数多くの絶滅危惧種の飼育・繁殖に
永年尽力し、野生復帰の礎を作った。現在はまだ見ぬ動物の姿を
求めて海外の動物園を訪れることをライフワークとしている。

あけましておめでとうございます。

2014年の干支は“馬”です。ウマほど世界に重要な影響を及ぼした動物は他にないとされています。アレキサンダー大王も成吉思汗も馬なくしては、世界を征服はできなかったのです。町中でウマの姿を見なくなって半世紀以上になりますが、50年前には町中を馬車が荷物を運んでいたものです。

ところで競馬場で走っているサラブレッドの原種は？ 残念ながら絶滅しています。現存する唯一の野生馬は『モウコノウマ』です。このウマも野生状態のものは絶滅しています(現在動物園生まれの何頭かが野生に戻されていますが)。このウマはチェコの動物園が中心になって保護増殖がはかられました。世界の動物園は絶滅に瀕している野生動物の保全に力をそそいでいます。



1835年に世界で最初に記載されたトキ『ニッポニア ニッポン』シーボルトが剥製を持ち帰った



最後の日本のトキ『キン』
2003年に死亡した



現存する唯一の野生馬
『モウコノウマ』



現在は絶滅している牛の
原種

動物園を訪れたことのない人はまずいないと思いますが、動物園は動物を檻にとじこめ嫌いであるという人もいます。私は幼少の頃から動物園に興味をもち、動物園で働きたいと思うようになりました。立高時代には生物部に席を置き上野動物園に通いました。また開園前の多摩動物園も昆虫採集を兼ねしばしば訪れました。劣等生であった私は大学入学には苦労しましたが、学生時代から実習生として動物園に通いました。うまく上野動物園に職を得て、動物との生活を得ることができました。動物園は世界的にも古くから連携することが多く、いくつかの外国の動物園も見ることができました。

現在、動物園の仕事からは離れていますが、動物に寄せる興味は尽きません。故・高島春雄博士は、全ての動物をその目で見たいとの希望を持っていました。彼の思いを今の私も強く感じています。

世界の動物園には未だ見たことのない動物を飼育する所が少なくありません。残り少ない人生、1種でもという思いが強くあります。今年プラハ動物園を訪れ、『モウコノウマ』への思いを感じてくることができたらと思っています。



『ニホンオオカミ』
かつては三多摩にも生息していた



飼育下で繁殖して再び野生に戻された『コウノトリ』



『アカガシラカラスバト』
世界で東京都にしかないハト



現存する世界最古の動物園・ウィーンの『シェンブルン動物園』
マリアテレサのために造られた